

科目名	スタイリストワーク I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大橋マリ

【科目の到達目標】

高い考察力でプレゼンテーションが出来、また柔軟性とコミュニケーション力を養う。
さらに個性を磨き、活躍できるファッションスタイリストを目指す。

【科目の概要】

スタイリングショーを行うにあたり、コンセプト出し、リサーチ強化、スタイリング、モデルキャスティングなど、演出をトータルで行い、現場での実践力を身につける。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|--------|------------------------|
| 1,2 | I スタイリングショー テーマプレゼン |
| 3,4 | I ラフプレゼンテーション |
| 5,6 | I スタイリングチェック① |
| 7,8 | I スタイリングチェック② |
| 9,10 | I スタイリングチェック③ |
| 11,12 | I 実物審査 |
| 13,14 | I プレリハーサル |
| 15,16 | I リハーサル |
| 17,18, | I スタイリングショー 本番 |
| 19 | I スタイリングショー 考察 |
| 20,21 | II スタイリングコンテスト テーマプレゼン |
| 22,23 | II ラフプレゼンテーション |
| 24,25 | II スタイリングチェック① |
| 26,27 | II スタイリングチェック② |
| 28,29 | II 実物審査 |
| 30 | II スタイリングチェック③ |

【成績評価方法】

課題(作品のクオリティ)70% 提出物20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

海外ファッション誌, ライフスタイル誌 カルチャー誌 洋装史写真集、世界の民俗衣装写真集
コレクション動画

【教材・教具】

筆記用具 スタイリスト道具

科目名	スタイリストワークⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大橋マリ

【授業の到達目標】

高い考察力でプレゼンテーションが出来、また柔軟性とコミュニケーション力を養う。
さらに個性を磨き、活躍できるファッションスタイリストを目指す。

【授業概要】

スタイリングショーを行うにあたり、コンセプト出し、リサーチ強化、スタイリング、モデルキャスティングなど、演出をトータルで行い、現場での実践力を身につける。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|-------|------------------------|
| 1,2 | Ⅱ プレリハーサル |
| 3,4 | Ⅱ リハーサル |
| 5,6 | Ⅱ スタイリングコンテスト 本番 |
| 7 | Ⅱ スタイリングコンテスト 考察 |
| 8,9 | Ⅲ 卒業スタイリングショー テーマプレゼン |
| 10,11 | Ⅲ ラフプレゼンテーション |
| 12,13 | Ⅲ スタイリングチェック① |
| 14,15 | Ⅲ スタイリングチェック② |
| 16,17 | Ⅲ スタイリングチェック、キャスティング、構 |
| 18,19 | Ⅲ 構成、演出(音響、照明)① |
| 20,21 | Ⅲ 構成、演出(音響、照明)② |
| 22,23 | Ⅲ スタイリングチェック、演出(音響、照明 |
| 24,25 | Ⅲ プレリハーサル |
| 26,27 | Ⅲ リハーサル |
| 28,29 | Ⅲ 卒業スタイリングショー 本番 |
| 30 | Ⅲ 卒業スタイリングショー 考察 |

【成績評価方法】

課題(作品のクオリティ)70% 提出物20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

海外ファッション誌、ライフスタイル誌 カルチャー誌 洋装史写真集、世界の民俗衣装写真集
コレクション動画

【教材・教具】

筆記用具 スタイリスト道具

科目名	スタイリング演習Ⅳ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	森本真生
【科目の到達目標】 スタイリスト及びクリエイターとして、ファッションフォト(BOOK)を通してクライアントにプレゼン能力を養う。			
【授業概要】 テーマ・ラフプレゼン・スタイリングボディフィッティング・撮影・作品考察を繰り返し、ファッションとは何かを自己と向き合い、スタイリング研究に専念する概要とする。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1,2	導入・スタイリスト概論、実技演習	31,32	ラフプレゼン・スタイリング考案★PSC
3,4	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案 ★PSC	33,34	スタイリング考案・チェック ★PSC
5,6	ラフプレゼン・スタイリング考案★PSC	35,36	ラフプレゼン・スタイリングチェック ★PSC
7,8	スタイリング考案・チェック ★PSC	37,38	スタイリングチェック・撮影準備 ★PSC
9,10	スタイリングチェック・撮影準備 ★PSC	39,40	フィードバック、作品撮影について
11,12	撮影日 ★PSC	41,42	作品撮影(スタイリング考案・チェック)
13,14	フィードバック、写専コラボについて、実技演習	43,44	作品撮影(作品発表) 写専コラボについて
15,16	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案	45,46	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案
17,18	ラフプレゼン・スタイリング考案	47,48	ラフプレゼン・スタイリング考案
19,20	スタイリング考案・チェック	49,50	ラフプレゼン・スタイリングチェック
21,22	スタイリングチェック・撮影準備	51,52	スタイリングチェック・撮影準備
23,24,25,26	写専コラボ 撮影日	53,54,55,56	写専コラボ 撮影日
27,28	フィードバック・実技演習	57,58	フィードバック、実技演習
29,30	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案 ★PSC	59,60	実技演習
【成績評価方法】 提出課題の評価 60% プレゼンテーション 20% 授業態度 20% 授業態度(撮影現場での動きなども含む)			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			

科目名	スタイリングデザインⅢ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	樂愛実
【科目の到達目標】 受け手にとっての価値の方向性を考えた上でのコンセプト出しができ、コンセプトに基づいたスタイリングデザインを考案することができる。また、ファッションスタイリングデザインだけではなく、演出デザインなど広義にスタイリングデザインを捉えることができる。			
【科目の概要】 本科目では、コンセプト出しの方法から、コンセプトに基づいたスタイリングデザイン方法について学ぶ。企画したコンセプトとスタイリングデザインは、学内イベントでスタイリングショー(コンテスト)として発表する。また、スタイリングデザインを広義にとらえ、スタイリングだけに留まらず、メイクデザイン、演出デザインなど幅広いスタイリングデザインについて、実践的且つ主体的に学び、自己表現としてのスタイリングデザインを確立させる。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	
1	プレタ展 イン트로ダクション	16	上安祭 スタイリング考案Ⅰ
2	プレタ展 コンセプト考案Ⅰ	17	上安祭 スタイリング考案Ⅱ
3	プレタ展 コンセプト考案Ⅱ	18	上安祭 演出デザインⅠ
4	プレタ展 コンセプトプレゼンテーション	19	上安祭プレタ展 演出デザインⅡ
5	プレタ展 スタイリング考案Ⅰ	20	デザイン思考Ⅱ
6	プレタ展 スタイリング考案Ⅱ	21	卒業ショー イン트로ダクション
7	プレタ展 スタイリング考案Ⅲ	22	卒業ショー コンセプト考案Ⅰ
8	プレタ展 演出デザインⅠ	23	卒業ショー コンセプト考案Ⅱ
9	プレタ展 演出デザインⅡ	24	卒業ショー コンセプトプレゼンテーション
10	プレタ展 演出デザインⅢ	25	卒業ショー スタイリング考案Ⅰ
11	デザイン思考Ⅰ	26	卒業ショー スタイリング考案Ⅱ
12	上安祭 イン트로ダクション	27	卒業ショー スタイリング考案Ⅲ
13	上安祭 コンセプト考案Ⅰ	28	卒業ショー 演出デザインⅠ
14	上安祭 コンセプト考案Ⅱ	29	卒業ショー 演出デザインⅡ
15	上安祭 コンセプトプレゼンテーション	30	卒業ショー 演出デザインⅢ
【成績評価方法】 課題点 60% プレゼンテーション30% 授業態度 10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			

教科名	スタイリング造形Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	90	作成者	東山幹子

【授業の到達目標】

スタイリストに必要な縫製技術と知識を、実物作成を通して習得する。

【授業概要】

スタイリストに必要な縫製技術・補正技術の基本を学ぶ。
また、イメージに合うスタイリングを作る為のリメイク・小物作りをファッションショーや撮影準備を通し習得。
様々なオファーに対応できるスタイリング製作能力を習得。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1・2	導入/採寸	27・28	上安祭衣装製作
3・4	ワンピース製作/裁断	29・30	上安祭衣装製作
5・6	ワンピース製作/芯貼り・切り膳	31・32	染色
7・8	フォトシューティング用衣装製作	33・34	染色
9・10	プレタ展 実物審査	35・36	ワンピース製作/縫製
11・12	プレタ展用衣装製作	37・38	ワンピース製作/縫製
13・14	プレタ展用衣装製作 フォトシューティング用衣装製作	39・40	ワンピース製作/縫製
15・16	ワンピース製作/縫製	41・42	ワンピース製作/縫製
17・18	ワンピース製作/縫製	43・44	ワンピース製作/プレゼンテーション
19・20	ワンピース製作/縫製	45	終業テスト
21・22	ワンピース製作/縫製		
23・24	上安祭衣装製作		
25・26	前期テスト		

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

上田安子「立体式洋裁」服飾手帖社 改訂版
「ワンピース」上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式、ショー衣装、生地(指定)、裏地、ミシン糸、手縫い糸
スプリングホック、ファスナー、ストレートテープ、接着芯

科目名	メイクアップ&ヘアスタイリングⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	西保幸子

【科目の到達目標】

ショーや撮影映えするヘアメイクテクニックを中心にクリエイティブヘアメイクテクニックの口技術習得。

【科目の概要】

毎シーズン移り変わるトレンドを意識し、ファッションとヘアメイクの関連性を意識し、どのようなファッションにも合わせたヘアメイクを施せる技術とセンスを習得する。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1.2	自己紹介&技術チェック	31.32	上安祭レッスン
3.4	グラデーションメイク	33.34	上安祭リハーサル
5.6	針金を使ったクリエイティブヘア	35.36	上安祭本番&撮影 ★テスト
7.8	ネジピンで作るクリエイティブヘア	37.38	逆毛練習
9.1	ウェットフィンガーウェーブ	39.4	クリエイティブヘア
11.12	ドライフィンガーウェーブ	41.42	クリエイティブメイク
13.14	プレタ展レッスン	43.44	ペイントメイク
15.16	プレタ展レッスン	45.46	写専コラボ撮影ヘアメイク
17.18	プレタ展リハーサル	47.48	クリエイティブヘア
19.2	プレタ展本番&撮影	49.5	スタイリングショーのヘアメイク提案
21.22	期末テスト	51.52	スタイリングショー練習
23.24	写専コラボ撮影ヘアメイク	53.54	スタイリングショー練習
25.26	コーンロー作り方	55.56	スタイリングショー練習
27.28	白塗りメイク	57.58	スタイリングショーリハーサル
29.3	上安祭レッスン	59.6	スタイリングショー本番

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	スタイリングフォト	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	近藤織弓
【科目の到達目標】 「肯定、信頼、問い」をコンセプトとし、スタイリングを通して自己に向き合いながら今後の表現方法を追求する。			
【科目の概要】 基本的な写真の知識を得て、表現方法をチームで作成する。 課題に合わせたスタイリングをし、写真を通して表現する。 写真にふれる。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	講師の自己紹介、写真にふれる、チーム決め		
2	課題1に合わせたスタイリングをし、撮影する。(課題1は撮影しにくい素材を使用)		
3	課題1+adobe expressの使い方(写真の基礎)		
4	課題1+撮影小道具の名称など現場での用語、対応(写真の基礎)		
5	課題2(課題2は写真集をつくる)+構図、ライティング(写真撮影の基礎)		
6	課題2		
7	課題2		
8	制作課題の決定。		
9	課題3(課題3はテーマに沿ってスタイリングし撮影する)		
10	課題3		
11	課題3		
12	課題3		
13	課題3		
14	課題3		
15	課題発表と投票		
【成績評価方法】 提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 カメラ、スマホ、自作座標			

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	古濱 伴子

【科目の到達目標】

素材の特性、機能性を理解し、商品に適した取扱いが出来るようになる。また、素材特性を踏まえたスタイリングが出来るようになることを目標とする。

【科目の概要】

機能性商品など、市場には様々な特徴のある商品が並んでいる。繊維ごとの特性を実験や演習を交えながら解説し、そのメンテナンスに至るまで習得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	オリエンテーション	
2	家庭用品品質表示法 洗濯表示	
3	アパレル商品の取り扱いについて	
4	天然繊維	
5	化学繊維（１）再生繊維・半合成繊維	
6	化学繊維（２）合成繊維 ナイロン・アクリル	
7	化学繊維（３）合成繊維 ポリエステル・ポリウレタン	
8	合成皮革・人工皮革	
9	衣服に求められる機能と着心地	
10	糸の種類	
11	織物の組織とその特徴	
12	編物の組織とその特徴	
13	加工・染色・トラブル	
14	総復習	
15	期末試験	

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

- ・ 一見 輝彦「わかりやすいアパレル素材の知識」ファッション教育社 2012年
- ・ 「生地の事典」株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	塚井良太
【科目の到達目標】 ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。 ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。			
【科目の概要】 服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化		
2	古代ローマ～ルネサンス		
3	ルネサンスと衣服		
4	エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知		
5	マリーアントワネット：革命と失脚		
6	復習/まとめ		
7	復習/発表		
8	19世紀ナポレオンとドレススタイルの変化		
9	オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル		
10	世界恐慌とファッションの復興		
11	プレゼン作成①		
12	プレゼン作成②		
13	プレゼンテーション/課題作成		
14	復習/まとめ		
15	テスト		
【成績評価方法】 課題作品評価60% 期末試験・小テスト30% 平常点10%			
【教科書・参考書】 教科書「西洋服飾史」			
【教材・教具】			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	60	作成者	HWANG Ae Fa

【科目の到達目標】

ビジネスに求められる英語でのコミュニケーション能力を養い、幅広い対応力と実践力を身につける。
様々な状況において英語を使うことを恐れない自信をつける。

【科目の概要】

前期は「使えるフレーズ」を習得し、外国人とのコミュニケーションができるよう実習及び研修に備える。後期は「読む・聞く・話す・書く」全般を学ぶことでプレゼンテーションやビジネスシーンで使う実践的な対応能力を養う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	Introduction	16	Presentation / Research
2	Presentation : Let's talk about Japan	17	Presentation / Preparation
3	Describing Fashion 1 : Vocabulary of items	18	Presentation
4	Describing Fashion 2 : How to wear the clothes	19	Speech : Report of the oversea training
5	Describing Fashion 3 : How to explain the outfit	20	Watching a movie
6	Describing Fashion 4 : How to explain your work	21	Understanding the movie
7	Sekkyaku English 1	22	Business English 2 : Introduction a colleague
8	Sekkyaku English 2 : Role-Play	23	Business English 3 : Offering to help & apologizing
9	Traveling English 1 : Airport & Airplane	24	Business English 4 : Taking telephone message
10	Traveling English 2 : Shopping	25	Business English 5 : Email
11	Traveling English 3 : Restaurant	26	Business English 1 : Purchase Order
12	Traveling English 4 : Guidance	27	Review / Test
13	Traveling English 5 : Getting Help for medical problem	28	Presentation / Research
14	Traveling English 6 : Reporting lost property	29	Presentation / Preparation
15	Debate	30	Presentation

【成績評価方法】

提出物40% 小テスト20% 期末テスト30%(筆記・英会話) 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

DVDs and player, PC, CD player, Dictionary (Smartphone Application), Magazines

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式、ショー衣装、生地(指定)、裏地、ミシン糸、手縫い糸
スプリングホック、ファスナー、ストレートテープ、接着芯

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	92	作成者	塩田千織/樂愛実

【科目の到達目標】

自己を知り、スタイリストとしてセルフプロモーションすることができるようになる。産学官連携など外部との関わりでは、自主的に考え行動し、問題点に気づき改善する力を身につける。

【科目の概要】

本科目は、海外研修の事前学習として、作品プレゼンテーションの準備や訪問国であるオーストラリアのマーケットや文化、ファッション特性を知り、現地での活動をより有意義なものにするための科目である。また、スタイリストとしての就職活動にむけ、SNSなどを活用したセルフプロモーション力を身につける。

90分/コマ	前期	後期
1・2	プロジェクト概要説明・コンセプト研究Ⅰ 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	31・32 資料作成Ⅱ・行程表作成 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
3・4	コンセプト研究Ⅱ・モデル/ロケ資料作成 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	33・34 資料作成Ⅲ・行程表作成 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
5・6	コンセプトデータ作成(英語版) 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	35・36 資料作成Ⅳ 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
7・8	スタイリング・ラフ作成/メイクカルテ作成 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	37・38 プレプレゼンテーション 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
9・10	コンセプトプレプレゼン・撮影スケジュール案 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	39・40 最終チェック 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
11	オンラインミーティング準備 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	41・42 発表準備Ⅰ 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
12・13	PSCとのオンラインミーティング 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	43・44 発表準備Ⅱ 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
14・15	学校案内など最終準備 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	45 プレゼンテーション会 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト
16・17	PSC来阪 衣装紹介 交流会Ⅰ 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	
18	撮影準備 楽屋セッティングなど 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	
19・20	ロケーション撮影 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	
21・22	チーム毎にプレゼンテーション準備 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	
23・24	プレゼンテーション会・交流会Ⅱ 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	
25・26	資料まとめ/最終プレゼンテーション 産学官連携 PSC来阪プロジェクト	
27・28	海外研修概要説明Ⅰ 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト	
29・30	資料作成Ⅰ・海外研修概要説明Ⅱ 産学官連携 PSC渡豪プロジェクト	

【成績評価方法】

課題評価60% プレゼンテーション30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	きものコーディネーション	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実技90%
時間数	28	作成者	樂愛実
【科目の到達目標】 スタイリストとして、着物の名前、種類と季節、TPOに応じたルールを学び、帯と着物の格を合わせる知識を知る。 基本的な着物の着付けと帯結び、畳み方を修得し、オケーションに合ったコーディネート提案できる基礎知識を身につける。			
【科目の概要】 講義と実技により、着物の着付けと帯結びを修得し、スタイリングやコーディネートを実践する			
【授業計画】 90分/コマ			
1.2 講義 着物の歴史やTPO 着付けの小物について、畳み方 3.4 実技 補正の仕方、着物の着付けの手順(自装) 5.6 実技 着物の着付け(自装) 7.8 実技 着物の着付け・帯の結び方(自装) 9.1 実技 着物の着付け(他装) 11.12 実技 着物の着付け(他装) 13.14 ※実技試験(ペーパーテスト) 実技試験 着物(自装・他装)			
【成績評価方法】 課題、実践評価 60% テスト 30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 必要に応じてプリント配布			
【教材・教具】 筆記用具、浴衣、浴衣帯(半幅帯)、着物、名古屋帯、肌襦袢、裾除け、長襦袢、着付け小物一式、補正用タオル			

科目名	海外研修	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義10 % 実習90 %
時間数	60	作成者	樂愛実
【科目の到達目標】 オーストラリア・メルボルンにて国際的なフォトグラファー教育を行うPhotography Studies College(PSC)で研修を行い、海外作品の表現方法やグローバルな感性の習得を目指す。			
【科目の概要】 オーストラリア・メルボルンにて国際的なフォトグラファー教育を行うPhotography Studies College(PSC)で研修を行う。作品のプレゼンテーションや撮影でのコミュニケーションを英語で行うことで語学力の向上を図るとともに、現地視察や海外での撮影に必要な技術や表現方法を学ぶことで、文化的価値観や国際感覚を養う。また、メルボルンファッションウィークに参加し、国際的なファッション感覚を養う。			
【授業計画】 90分/コマ			
●メルボルンについての事前リサーチ ●6泊8日の研修参加 ・PSCにて授業受講（撮影での表現方法、ロケーションやポージングの選定方法など） ・PSC教員/学生へ、日本で制作した作品についてのプレゼンテーション ・PSC教員からアドバイス、PSC学生からロケーションやポージングの提案 ・モデルフィッティング、ヘアメイクテスト ・ロケーション視察、選定 ・市内でロケーション撮影（本校学生：スタイリスト、PSC学生：カメラマン、モデル） ・PSC学生（カメラマン）と資料を作成し、作品プレゼンテーション ●メルボルンファッションウィーク参加 ●ストリートリサーチ ●研修参加後のレポート、考察			
【成績評価方法】 ・授業態度10% ・課題作品の仕上がり評価（レポートを100点満点で採点し平均点で評価）60% ・理解力（修業テストプレゼン）30% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			